

「スマホでタクシー研究会」へのプレゼン

昨年の12月5日、オリジナルグループとして、東京の「スマホでタクシー研究会」へのプレゼンの機会を頂いた。すでに東京では日本交通を皮切りに東京無線、飛鳥交通グループ（23区以外）が利用者のスマホによるタクシーの注文システムを提供しており、東都自動車、私鉄協なども運用の準備に入っていると聞く。そうした個々のタクシー会社や無線協組の顧客利便の提供、結果としての顧客の囲い込みとしてのスマホ受注システムの稼働に対し、利用者にタクシー業界が共同でスマホの配車サービスを提供する環境を作っていくべきという考え方が、所謂



「スマホでタクシー研究会」の出発点だと聞く。もちろん各タクシー会社は利便性を提供し、顧客を囲い込むことを目指すのは非難されるべきでなく、営業会社として当然の事ではあるが、一方利用者から見れば、自分の近くの車両を、会社を問わず呼びたいというニーズも存在する。最大の無線グループの車両数でも5000両程であり、東京地域の全体車両数4万両からすれば、利用者がより近くでマッチングする確率は高まるであろう。このシステムを実現するために「スマホでタクシー研究会」は利用者が使うスマホ用のアプリ、さらに個々のタクシー事業者、無線協組の車両の位置情報の収集と利用者と車両のマッチングをするためのシステムのプレゼンを、システムオリジンを含む複数の業者から受けた。

オリジンGの提案の肝

オリジングループでは利用者用のスマホは、iPhoneやアンドロイドなどO

清野吉光氏のコラム 第50回

団塊 耕 志 録

清野 吉光(きよの よしみつ) 略歴

1950年 長野県四賀村生まれ、松本深志高校卒業。1968年上智大学外国学部ロシア語科入学、1971年 中退。その後印刷関係など様々な職業に従事。1976年清水市の日の丸交通入社。1980年静岡市内の事務機器センターに入社。1982年システムオリジンを仲間と創業、専務取締役。1992年代表取締役社長就任。2000年(株)タクシーサイト創立、現取締役会長。2007年タクシーアシスト代表取締役社長に新任。現在に至る。



「全タク連への提案」

Sの違いの影響を受ける所謂「アプリ」ではなく、機種、通信キャリアを問わないWeb版での提供を行い、そのシステム名を「ゆびタク」と名付け、開発・提案をしている。また位置情報の収集については、既に東京のタクシー業界で普及しているデジタル無線を使ったGPS-AVMシステムとの連携、連動のシステム、そして、利用者の位置情報と車両の位置情報をマッチングし、配車するサーバー機能をクラウド環境で提供するシステムを提案させて頂いた。ただこれらの点については、他の業者の方も多分同様の提案をされている事であろう。オリジングループの提案の肝は、実は配車システムの提案にあるのではなく、利用者とタクシー事業者とを結びインフラの構築の提案にあった。スロガンの例に言えば「東旅協(全タク連)が、利用者のあらゆる多様な移動ニーズと事業者の移動サービスをマッチングする一元的なネットワークインフラを作りましょう。そしてそのもつとも使い勝

手の良い道具として、利用者のスマホを活用しましょう！」という事であった。そして、さらに強調したいポイントは、

「そのようなインフラを作るためにゼロからスタートするのではなく、利用者やタクシー業界を、スマホを含むネットで繋ぐインフラとして12年間の蓄積を持つタクシーサイトを、タクシー業界の傘下に置き、その資産を活用して、よりスムーズに早く、利用者への利便性の提供と、それによる需要の拡大と業界の活性化を目指しましょう！」
というのがプレゼンの核心であった。

タクシーサイトの資産？

タクシーサイトがそれ程のものか？と訝る方が多いと思うが、昨年の12月、月間のアクセス人数が90万人を超えた。「タクシーを呼ぶ」や「運賃検索」など、タクシー乗車へのニーズとダイレクトに結び付くページへのアクセスが、その大半だ。またグーグルやヤフ

ーなど主要な検索エンジンでは、「タクシー」などのキーワードで検索すると、6000万件を超えるサイトがヒットする。そしてそのトップに来るのが（広告を除いて）タクシーサイト。インターネット上にサイトを制作するのは容易だが、アクセスして貰う事、とりわけ主要検索サイトのトップに来るのは容易ではない。2000年に設立したタクシーサイトが12年間で蓄積してきたコンテンツと長い時間によって（えーと、言い難いが、それなりのお金も…）実現したものだと思う。何故そうしてきたかと言うと、タクシー利用者の利便性の為でもあるが、口はばったくも、タクシー業界のためでもある。それはオリジンがタクシー業界によって生かされており、タクシー業界が発展する事が、オリジンが発展する事に繋がると愚直に信じているからでもある。

したがって、今のこの局面でこのタクシーサイトの資産が少しでも業界にお役に立てば嬉しいし、また立



てるのだと信じてもいる。このタクシーサイトの資産を、東京のスマホでタクシー共同配車のインフラに活用して頂き、さらに発展して、全国の多様な移動のニーズを満たす移動サービスとのマッチングのインフラとして機能し、タクシー業界の活性化（総合生活移動産業の創造）の手段として使って頂けるようになれば、まさに本望だ。

傘下には？ 何故「全タク連」の傘下には？

タクシー業界（全タク連）が利用者の為にこうしたインフラを自ら作る、と言う事に大きな意味とアピールがあると思う。タクシーサイトは、現時点ではタクシー業界の（外部）の会社である、オリジンの100%の子会社。仮にこのタクシーサイトがマッチングの機能を果たし、タクシー事業者からマッチングの手数料を頂くとしたら、それはやはり「ピンハネ」として受取られがちになってしまう

（金額によるでしょうが）。またタクシー業界が（利用者の為に）インフラを作ったという事には成りにくい。であれば、タクシーサイトを全タク連（ないしはそれに準ずる物）の傘下に置き、マッチング手数料は実費とし、タクシーサイトは 구글などと同様の、広告料モデルでその継続性を図るのが良いのではと思う。業界が一致して利用者の為に作るインフラ、其の下での各事業者の競争の保証、この構図こそ「スマホでタクシー研究会」のコンセプトであり、大義であると信じている。いまこの「スマホでタクシー研究会」の役割は、東旅協の特別委員会に引き継がれたと聞いている。

今後、このスマホの共同配車を始め、利用者の為のインフラの構築のチャレンジが行われて行くと思うが、オリジングループはいつでもこの方面でも、業界のお役に立ちたいと思っているし、結果それがオリジングループの為でもあると強く信じている。

（2013年1月23日記）

The advertisement for 'タクチャージ' (Taxi Charge) is divided into two main sections. On the left, a comic strip shows a taxi driver using a mobile device to manage his business, with text like 'お客様の「ありがとう」が、毎日の活力です！' (The 'thank you' from customers is the vitality of every day!). On the right, a hand is shown holding a smartphone, with the text 'タクチャージで 売上 やりがい コミュニケーション サービス イメージ UP!!' (Taxi Charge increases sales, makes work enjoyable, communication, service, and image!). Below this, a list of compatible devices is provided: 1. docomo-FOMA/SoftBank-3G, 2. auCDMA/au-WIN, 3. iPad, iPhone-3G/4G, iPod (5th generation, classic), iPod touch, nano, 4. Other microUSB devices like game consoles, digital cameras, and portable PCs. The contact information for '株式会社システムオリジン' (System Origin Co., Ltd.) is listed as 03-3834-8352.